

社会教育クローズアップ

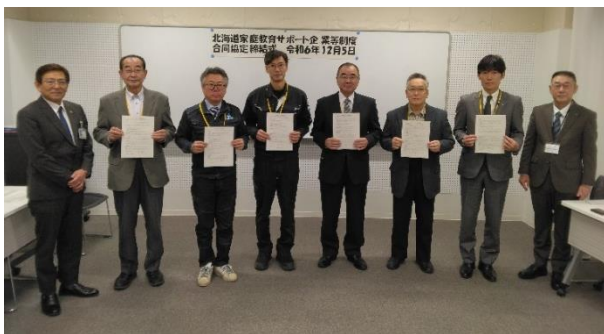
十勝管内「北海道家庭教育サポート企業等制度協定」締結 373者に！

本号では、12月に実施した「北海道家庭教育サポート企業等制度協定」合同締結式（上士幌町内企業等7者）についてお伝えします。また、本制度に関わる他管内や他県の実践を御紹介します。

12月5日に、上士幌町生涯学習センターわっかで実施された合同締結式には、町内の新規締結企業等7者のうち、6者が参加しました。今回締結した7者は、これまでも多くの地域貢献活動等に参画してきました。本制度の協定締結にあたっては、【項目3】「地域行事への協力、支援」、【項目5】「生活リズム向上の取組」に取り組んでいただきます。（【項目】について詳しい内容は、第15号、第18号のクローズアップを参照）

（12月5日実施 上士幌町合同協定締結式）

| 企業等名 | 取組項目 | 企業等名 | 取組項目 |
|--------------|------|----------------|------|
| 法輪寺 | ③⑤ | 上士幌トラック株式会社 | ③⑤ |
| 有限会社 佐藤木材産業 | ③⑤ | 株式会社 塚田設備工業 | ③⑤ |
| 十勝信用組合 上士幌支店 | ③⑤ | 社会福祉法人 上士幌福寿協会 | ③⑤ |
| 有限会社 スズキ電気 | ③⑤ | | |



締結企業等の皆さん
（左端は上士幌町小堀教育長、右端は新山十勝教育局長）



協定書に署名する様子

令和6年12月5日 協定締結

「法輪寺」の取組について～子どもたちの「体験活動」への協力～

〈できることを惜しみなく提供し、「社会全体で子どもの育ちを支える」ことが大切〉

今回新規締結となった「法輪寺」代表の柏川さんは、今年度初めて中学校の職場体験活動の受け入れをされました。受け入れは、生徒本人の希望を受けた町の地域協働推進員からの打診があって実現したものです。

柏川さんは、「境内やお寺の中の掃除、法具のさび落とし等の活動をおし、子どもたちの生活体験や日本の文化体験の一助となつてほしい。」と話され、また、「自身の子育てが終わり、なかなか子どもとの接点をもちにくい環境だが、社会全体で子どもたちの育ちを支えることがとても重要であり、何かできることがあれば協力を惜しまない。」と、町の子どもたちのための活動を精力的に行われています。



お寺の掃除をする様子

「家庭教育サポート」の充実において～他管内、他県の実践を知る～

平成18年から始まった北海道家庭教育サポート企業等制度ですが、十勝管内以外でも締結が進み、興味深い取組が進められています。また、他県においても類似の制度を実施しているところもあり、企業や地域の特色を活かした取組も見られます。

北海道の本制度は、所属する従業員等の家庭教育、家庭生活の充実を目的としているところですが、近年は、企業等が所在する地域やそこに住む子どもたちとの関わりが注目されるようになっていきます。

他管内や他県の様々な取組を知ることで、「家庭教育サポート」のよりいっそうの充実を目指します。

上川管内 各家庭教育サポート企業が連携した取組を実施 道教委 HP より

〈締結企業同士の交流・親睦を深める〉

～連携した取組の促進を目指し、家庭教育推進につなげる～

- ・上川教育局が、締結企業同士が連携した取組の促進を目指し、各企業を仲介
- ・(株)丸三美田実郎商店の従業員向け健康セミナーで、(株)ヤクルト北北海道社員が健康維持について講演
- ・Agri Innovation Design (株)とフォレストウイングス旭川が連携し、スポーツ体験会を実施



☆企業同士の連携で、それぞれの企業の特徴を活かし、より充実した事業等を実施しています。

釧路管内 企業と社会教育施設、教育局の連携 道教委 HP より

〈垣根を越えて、できることとしたいことが「貴重な学び」を生む〉

～より広く、より多く、より深い学びを生む関わり～

- ・化石掘りができる場所を探している足寄動物化石博物館、機械が稼働していない日に鉱山を無料開放できる阿寒シェル鉱業、家庭教育サポート企業制度をとおしての阿寒シェル鉱業と釧路教育局の関わり
- ・それぞれの強みが発揮され、道東地域、道外も含め多くの参加者の学びにつながる



☆それぞれのニーズとできることが一致し、結果として関係者全員にプラスの効果が生まれています。
(化石発掘事業は、冬期間(12月～4月頃)は休止しています)

神奈川県 家庭教育協力事業者連携事業 (かなめ) より

〈株式会社 小島ラベル印刷〉(家庭教育通信「の・ぼ・り・ぎ・か」第20号より)

～きっかけは従業員の一言 家庭教育の枠にとられない取組～

- ・日常的に活用されている休暇制度(3日に1回は誰かが休んでいる)
- ・従業員の家族にも、会社と関わる機会の提供(BBQ、工場見学等)
- ・従業員の声を活かされた制度づくり(有休を消化しない有休)



☆家庭教育だけでなく、社会教育(体験活動等)、学校教育(キャリア教育等)の要素が、無理なく取り込まれていて、「働きたい」「地域にあってほしい」と思えるような企業です。
☆神奈川県では家庭教育通信「の・ぼ・り・ぎ・か」を発行し、企業等の取組を紹介しています。

【発行・お問合せ先】
北海道教育庁十勝教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課社会教育指導班(皆川・福原)
住所: 〒080-8588 帯広市東3条南3丁目
電話: (0155) 26-9243 (直通) 平日 8:45～17:30
E-mail: fukuhara.natsumi@pref.hokkaido.lg.jp